

しょうめんこんごう ぞう

⑱ 青面金剛像

中俣の園田家の場所には藩政時代、浦役屋敷が置かれていました。庭内のこの像は高さ約60センチ、六本の腕を持つ青面金剛とされます。青面金剛は中国の道教思想に由来し、日本の庚申信仰とともに独自に発展した神様です。庚申講の本尊として知られ、三戸の虫を押さえる神と考えられています。



きねんひ

⑳ 記念碑

昭和27年(1952)、中俣瀬角地区の農道内ヶ比良線開通の記念碑。農道の起点に建設してあります。破損したため、平成14年(2002)に台座を再建しました。

【加治屋鉄工の東側】



さいふくじ あと

㉑ 西福寺跡

西福寺は中世に建てられ、中俣瀬角の旧大隅線沿いの山手にあり、現在は地域の墓地となっています。心翁寺の末寺で曹洞宗。開山は心翁寺二世丹露和尚とされています。

